

## 2025 年 AIBA 認定貿易アドバイザー試験サンプル問題（国際マーケティング）

### 第 1 問

P.コトラーの提唱したマーケティング進化論では、マーケティング 1.0 から 5.0 までの概念が示されている。

マーケティング 3.0 の特徴として最も不適切なものを一つ選びなさい。

1. 消費者を、感情を持つ存在と捉える
2. 社会的価値の共創を目指す
3. 顧客満足よりも製品中心のアプローチを取る
4. 企業の社会的責任（CSR）を重視する

### 第 2 問

マーケティングの基本概念である STP 戦略は、効果的な市場攻略に欠かせない。

次のうち、STP における「P」に該当するものとして最も適切なものを選びなさい。

1. 製品の価格決定
2. ターゲット層の選定
3. 市場細分化
4. 製品の位置づけ

### 第 3 問

SNS は、顧客との直接的な接点を持ち、認知の拡大やブランド・ロイヤルティの向上を図るための重要なツールである。

以下の SNS マーケティングに関する記述のうち、不適切なものを 1 つ選びなさい。

1. UGC (User Generated Content) は、企業が直接制作したコンテンツよりも信頼性が高く、購買行動に影響を与えやすいとされており、エンゲージメント率の向上にも寄与する。
2. SNS 広告のターゲティングでは、リターゲティング（過去の接触履歴に基づく広告表示）も可能だが、個人情報保護規制（GDPR や日本の改正個人情報保護法）により制限を受ける場合がある。
3. インフルエンサーマーケティングでは、エンゲージメント率の高さが影響力の強さを測る最も重要な指標であり、フォロワー数が少ないナノインフルエンサーでも効果的なことがある。
4. SNS でのマーケティング効果は、「いいね」やコメントなどの反応に限定され、Web サイト誘導や購買につながる行動は測定が難しいため、ROI を算出するのは困難である。

### 第 4 問

PEST 分析は、グローバル環境分析の枠組みの一つとして用いられる。

PEST の「S」に該当するものとして最も適切なものを選びなさい。

1. 関税政策
2. 宗教や生活様式
3. 景気循環
4. 技術革新

#### 第 5 問

バリューチェーン分析は、企業の活動を主活動と支援活動に分類し、競争優位を分析する手法である。

次のうち、主活動に該当するものとして最も適切なものを選びなさい。

1. 人事管理
2. 研究開発
3. 製品出荷・物流
4. 企業インフラ管理

#### 第 6 問

次の【A】～【C】は、グローバルブランド戦略に関する記述である。正誤の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。

【A】 世界的に認知されたブランドは、現地市場に合わせてネーミングを変更することがある。

【B】 グローバルブランドの価値は、全世界で同一の商品仕様と価格を保つことによって最大化される。

【C】 ブランドの一貫性は重要だが、文化的背景による調整も必要とされる場合がある。

1. 【A】: 正 【B】: 誤 【C】: 正
2. 【A】: 誤 【B】: 正 【C】: 正
3. 【A】: 正 【B】: 正 【C】: 誤
4. 【A】: 正 【B】: 誤 【C】: 誤

#### 第 7 問

デジタルマーケティングでは、顧客の購買プロセスを「ファネル」として捉え、各段階における効果を適切な指標（KPI）で測定・管理することが重要である。

以下のファネルと KPI の組み合わせのうち、最も不適切なものを一つ選びなさい。

1. 認知（Awareness）段階：インプレッション数、リーチ数
2. 興味・関心（Interest）段階：ページ滞在時間、クリック率（CTR）
3. 比較・検討（Consideration）段階：カゴ落ち率、フォーム離脱率
4. 購買（Action）段階：離脱率、直帰率

### 第 8 問

マーケティング・コミュニケーションには、プル戦略とプッシュ戦略がある。

以下の販売促進手法のうち、「プッシュ戦略」に分類されるものとして最も適切なものを 1 つ選びなさい。

1. テレビ CM などのマス広告
2. 展示会やサンプル配布などの販促活動
3. SNS 広告やインフルエンサーマーケティング
4. ブランド認知度向上を目的としたパブリシティ戦略

### 第 9 問

WTO には 4 つの特徴があるが、その中で 2020 年以降は上級委員会が実質的に機能停止に陥り膠着状態にあると指摘されているものは何か、適切なものを下記から一つ選びなさい。

1. 既存の貿易ルールの強化
2. 新しい分野のルール策定
3. 紛争解決手続きの強化
4. 諸協定の統一的運用の確保

第 10 問 世界の経済及び貿易に関する以下の問について、それぞれの指示に従って解答の番号を記入しなさい。

問 1 2024 年の世界経済の実質 GDP 成長率は前年比何%であったか、適切なものを下記から一つ選びなさい。

1. +2.8%
2. +3.0%
3. +3.3%
4. +3.5%

問 2 ジェトロの「貿易投資報告 2025 年版」によると、製造・供給元として中国が支えるかたちで堅調に拡大してきた B2C 越境 EC 市場だが、2025 年に入り、転換点を迎えてい る、と指摘している。その理由として挙げられているものは何か、適切なものを下記から一つ選びなさい。

1. 不動産バブルの崩壊による中国経済の減速
2. 中国の過剰生産能力の調整措置による供給減

3. 米国の不動産市場低迷による需要減
4. 米国の中・香港原産品に対する「デミニミスルール」の撤廃

第 11 問　日本の経済及び貿易に関する以下の問について、それぞれの指示に従って解答の番号を記入しなさい。

問 1　日本貿易会の「日本貿易の現状 2025 年版」で報告されている 2024 年の日本の貿易に関する下記の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

1. 2024 年の輸出は 112.4 兆円（前年比 +1.0%）となり、2 年連続で 110 兆円を超え、過去最高となった。
2. 2024 年輸入は 107.1 兆円（前年比 +6.2%）となり、3 年連続で 100 兆円台を維持している。
3. 2024 年貿易収支は 5.3 兆円と 4 年連続で黒字となったものの、黒字幅は前年比で 4% 縮小した。
4. 2024 年の円の対ドルレートは年平均 152 円（前年比 +7.8%）となり、年ベースでは 4 年連続の円安となった。

問 2　ジェトロの「貿易投資報告 2025 年版」には、日本のサービス貿易収支において、旺盛なインバウンド需要を背景に「旅行サービス」が赤字幅縮小に大きく貢献した、と記載されているが、もう一つ「これまでサービス貿易を下支えしてきた」として黒字を記録したサービスは何であったか、適切なものを下記から一つ選びなさい。

1. 輸送サービス
2. 知的財産権等使用料
3. 通信・コンピューター・情報サービス
4. その他業務サービス（研究開発、コンサル・広告など、技術・貿易関連など）

問 3　2025 年 5 月、経済安全保障分野におけるセキュリティ・クリアランス (SC) 制度がスタートしたが、この制度を定める法律の名称は何か、適切なものを下記から一つ選びなさい。

1. 経済施策を一体的に講ずることによる安全保障の確保の推進に関する法律（経済安全保障推進法）
2. 特定秘密の保護に関する法律（特定秘密保護法）
3. 重要経済安保情報の保護及び活用に関する法律（重要経済安保情報保護活用法）

#### 4. 外国為替及び外国貿易法（外為法）

##### 第 12 問

ジェトロの「貿易投資報告 2025 年版」に記載されている、2024 年の日本の対外直接投資に関する内容として適切でないものを下記から一つ選びなさい。

1. 2024 年の日本の対外直接投資は前年比 6.5% 増の 2,081 億ドル（国際収支ベース、ネット、フロー）となった。
2. 2024 年の日本の対外直接投資は、2 年ぶりに増加に転じた。
3. 2024 年の円ベースの対外直接投資は 31 兆 5,613 億円（14.2% 増）となり、初めて 30 兆円台を記録した。
4. 主要地域別では、北米向けが 14.6% 増の 804 億ドル、うち米国は 786 億ドル、19.0% 増加と、2021 年（829 億ドル）に次ぐ高い水準となった。

<解答>

第 1 問 3

第 2 問 4

第 3 問 4

第 4 問 2

第 5 問 3

第 6 問 1

第 7 問 4

第 8 問 2

第 9 問 3

##### 第 10 問

問 1 3

問 2 4

##### 第 11 問

問 1 4

問 2 2

問 3 3

##### 第 12 問 2